

## 「パフォーマー」はどうすれば自由になれるのか？

窮劇場は、歴史的な文脈と現代との対話を通じて、世界と他者へ応答する道を切り拓きます。ワークショップでは実践的なワークとディスカッションをともに行い、パフォーマーを身体的訓練から創作方法まで導きます。演出家の視点を備え、訓練と表現方法の仕組みや流れを見つめなおし、知性と感性の境界を超え、身体的表現力と精神力をさらに確固たるものにします。自由とはなにかを捨てることや忘れることなく、受け入れることに近いのです。複雑に混ざりあった歴史や記憶とともに躍りましょう！みなさんと東京でお会いすることを楽しみにしています。



### 講師 高俊耀 (ガオ ジュンヤオ)

窮劇場 (approaching theatre) 団長。ACCアジア文化協会受賞者。劇作家、演出家、パフォーマー。マレーシア人。中国文化大学芸術大学院 (台湾) 修了。近年は台湾の実験劇場において演出家・俳優として活躍し、創作と演劇教育を同時に行っている。作品は現代の華人の分散した記憶と歴史的アイデンティティーについて探究している。複数の音声で流動的な物語を提示することを得意とする。音声を通じて時間と空間の次元を構築し、語り口は簡潔かつ精密で、激しいスタイルを持つ。

### 講師 鄭尹真 (ジェンインジェン)

窮劇場 (approaching theatre) 芸術監督、舞台俳優、講師。南管 (伝統音楽) を学ぶ。台北芸術大学劇場芸術大学院パフォーマンスコース修了。2016年にACCアジア文化協会の助成を受け、インドネシアのジャワと韓国で伝統舞踊を研修。様々な演劇ジャンルのパフォーマンスや、異なる領域の音響アーティストとの即興創作などのほか、伝統的な劇音楽から派生した身体、声、情感を常に模索し、東洋のパフォーマンスの美学における「静的」な内容を追及している。



## お申込み

チケットシステム  
【Peatix】から  
ご予約ください。



<https://taiwan2024.peatix.com/>

日本演出者協会は、ハラスメント防止に努めています。参加のお申込みをされる前に、必ずこちらの「日本演出者協会事業におけるハラスメント防止ガイドライン」をご確認ください。  
[https://www.jda.jp/archive/docs/Harassment%20prevention\\_0802](https://www.jda.jp/archive/docs/Harassment%20prevention_0802)



### 題材テキスト

#### シェイクスピア作『オセロ』5幕2場 妻殺しの前のオセロ独白

7月5日(金)18:00～21:00

- ボディワーク：(エネルギーや感情などの)放出と貫通
- ボイスワーク：構造と呼吸
- ウェイキングアップ：異質なシンクロニシティについて

7月6日(土)10:00～17:00 (昼休憩あり)

- ボイスワーク：時代と傾聴、内向性と外向性
- 境界線の消滅／集団創作：呼吸とエネルギー、主体と客体
- 『オセロ』：言語の音楽性から空間の音楽性まで
- 窮劇場の作品紹介とパフォーマンス論：《死亡紀事》、《大世界娛樂場Ⅱ》、《感謝公主》の一部を鑑賞後、討論

7月7日(日)10:00～17:00 (昼休憩あり)

- マインドワーク：意識の変化
- ウェイキングアップ：群像のシンクロニシティについて
- 『オセロ』の抜粋テキストを使った参加者によるワーク
- 「自由なパフォーマー」創作論、結び

リンク先のシステムが利用出来ない方は、お名前、連絡先(メール、電話)を明記の上、メールにてご応募ください。のちほど詳細をご連絡致します。

✉ [jda.iad.info1@gmail.com](mailto:jda.iad.info1@gmail.com) ☎ 090-1996-8673 (佐川)

**お申込み〆切 ▶ 7月2日まで**